

日本学術会議 臨床医学委員会 感覚器分科会（第 25 期・第 1 回）
議事録

日 時：令和 3 年 1 月 31 日（日） 18:00～19:00

場 所：Web 会議

出席者：寺崎浩子，相原 一，飯田知弘，大野京子，小椋祐一郎，五味 文，外
園千恵，高橋政代，松本 有，山嵜達也 各委員

欠席者：石田 晋委員

議 事：

1. 寺崎浩子第二部会員が発起世話人となり、臨床医学委員会の中に感覚器分科会が発足したことの説明があった。
2. 役員（委員長、副委員長、幹事）の決定
委員長に寺崎委員、副委員長に山嵜委員、幹事に五味委員と松本委員を選出した。
3. 第 25 期の活動方針について

1) 市民公開講座の開催について

- 本年中に市民公開講座を開催する。ただし、Web（ライブまたはオンデマンドまたはその両方）での開催とする。
- テーマはコロナ禍に関連したものを第一候補とする。COVID-19 による感覚器への影響、外出自粛や受診控えによる感覚器疾患のリスク等を演題とし、メールにて議論を進める。
- Web での開催であることから、テーマ、演題の選定にあたっては、聴衆の年齢層などを考慮する。
- ポスターは作成せず、ホームページ、メール配信や SNS を利用した告知を主とし、配信をオンデマンドだけに限れば、費用は抑えることができる。
- 日本眼科学会と日本耳鼻咽喉科学会で開催費を負担することになり、その割合等については今後検討する。

2) 感覚器シンポジウムの開催について

- 日本眼科学会総会、日本耳鼻咽喉科学会総会の一プログラムとして、感覚器疾患の克服をテーマにしたシンポジウムを開催する。
- 具体的なテーマや演題については今後検討する。開催する学会については、日本耳鼻咽喉科学会の村上信五理事長とも相談する。

3) 領域横断的なシンポジウムの開催について

- 学術会議の第一部（人文・社会科学）、第二部（生命科学）、第三部（理学・工学）の領域横断的なシンポジウムを開催し、そこでの討論内容をもとに提言を発表することを検討する。
- 感覚器とモビリティ（運転補助技術や法整備を含めて）や感覚器分野での新規医薬品の開発・承認（ファーマケミカルや法整備を含めて）などが候補にあがったが、引き続き検討する。

4. 今後の開催日程等について

- 次回会議は4月中旬から下旬の開催とし、改めてメールにて日程調整をする。
- 次回は本年開催の市民公開講座のプログラムについて具体的に検討する。
- これまで感覚器分科会で主催したシンポジウムや市民公開講座等を一覧にした参考資料を委員に提供する。

以上